

## 「熊本県」で 高病原性鳥インフルエンザ発生 (国内で7例目)

### 1. 農場の概要

所在地:熊本県玉名郡南関町

飼養状況:採卵鶏 (約10万羽)

### 2. 経緯

- (1)平成28年12月26日、熊本県は、死亡採卵鶏が増加した旨の連絡を受けて、移動自粛の要請及び立入検査を実施
- (2)インフルエンザ簡易検査を実施 → 陽性
- (3)遺伝子検査を実施  
→ H5亜型(高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜決定)

### “飼養衛生管理基準” の遵守を!

- ◎ 野鳥・野生動物の侵入防止
- ◎ 農場・鶏舎での出入口の消毒を徹底
- ◎ 関係者以外の立入制限、発生国への渡航自粛
- ◎ 入場者や車両についての記録・消毒の徹底



※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL : 0577-33-1111 (内線402)

FAX : 0577-32-9019

# 高病原性鳥インフルエンザ発生状況 【家きん】

平成28年12月26日現在

H28分5	発生例数
高病原性	4道県 6例 北海道、青森県、 新潟県、宮崎県

北海道 1例  
⑤H28.12.16 H5N6型  
【被害例: 285羽】

新潟県 2例  
②H28.11.29 H5N6型  
【被害例: 31羽】  
③H28.11.30 H5N6型  
【被害例: 24羽】

青森県 2例  
①H28.11.28 H5N6型  
【被害例: 1.8万】  
④H28.12. 2 H5N6型  
【被害例: 4.7万】

★ H28年度 野鳥等から分離されたH5N6型  
北海道、青森、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、  
新潟県、茨城県、栃木県、山梨県、三重県、  
京都府、兵庫県、鳥取県、徳島県  
／ 15道府県117事例  
(※ 確定例27事例)

熊本県 1例  
⑥H28.12.27 H5N6型  
【被害例: 10羽】

宮崎県 1例  
⑦H28.12.19 H5N6型  
【内訳例: 12羽】

H27まで	発生例数
高病原性	14道府県 20例 千葉県、愛知県、 三重県、京都府、 奈良県、和歌山県、 岡山県、鳥取県、 山口県、大分県、 佐賀県、熊本県、 宮崎県、鹿児島県
低病原性	3県 42例 埼玉県、茨城県、 愛知県
計	18道府県 62例

過去21日間の平均死亡率の2倍を超える死亡があった場合等、  
異常を認めた場合にはすぐに家畜保健衛生所まで連絡を！